

サンシャインだより



地域密着型特別養護老人ホームあいらんど美濃白川がオープンしました。
(ホールの絵画の前で)

社会福祉法人 白 泉 会

特別養護老人ホームサンシャイン美濃白川(本部)
サンシャイン美濃白川デイサービスセンター
サンシャイン美濃白川居宅介護支援事業所

〒509-1106 岐阜県加茂郡白川町坂ノ東5500番地1

TEL(0574)75-2340 FAX(0574)75-2888

地域密着型特別養護老人ホームあいらんど美濃白川

〒509-1105 岐阜県加茂郡白川町河岐2番地4

TEL(0574)74-1171 FAX(0574)74-1172

グループホームかわばた荘

〒509-1106 岐阜県加茂郡白川町坂ノ東5467番地1

TEL(0574)75-2699 FAX(0574)75-2566

佐見デイサービスセンターせせらぎ園

〒509-1222 岐阜県加茂郡白川町下佐見2510番地2

TEL(0574)76-0033 FAX(0574)76-2177

URL <http://www.hakusenkai.jp/>

地域密着型特別養護老人ホーム

あいらんど美濃白川が完成

昨年5月から白川町河岐島地区に建設を進めてきた、地域密着型特別養護老人ホームあいらんど美濃白川が完成し、4月4日に竣工式典を行いました。竣工式には、社会福祉法人白泉会関係者、白川町長、東白川村長、両町村議会議員など50人が参列。神事のあと、テーブルカットや来賓による祝辞が述べられ、乾杯をして完成を祝いました。

また、4日午後と5日には見学会を行い、訪れた200人余りの中からは、「木の香りがするすばらしい施設や」「できることなら、いまから申し込んでおきたい」「年金で入れそうで安心した」などの声が聞かれました。

あいらんど美濃白川は、特別養護老人ホームサンシャイン美濃白川のサテライト施設として一体的に運用を進めていきます。

入所要件や費用等を知りたい方は、あいらんど美濃白川、またはサンシャイン美濃白川へお問い合わせください。

さい。

地域交流スペース



▲外観（玄関付近）



▲共同生活室



▼見学会の様子



浴室





▲居室

建設費の内訳

構造 木造 平屋造 (準耐火構造)

敷地面積 6945.90㎡

建築面積 1676.32㎡

延床面積 1360.57㎡

入所定員 29人 (3ユニット)

◎建設費

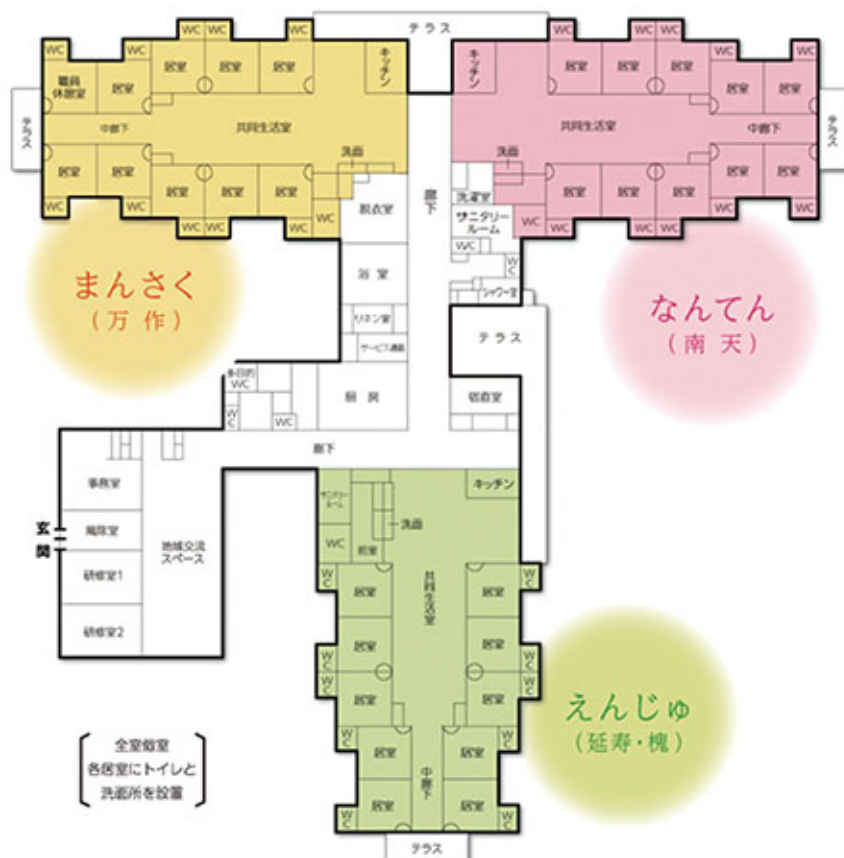
- ①設計監理費14,580,000円
 ②建築工事費 364,878,000円
 ③合併処理浄化槽工事費 4,482,000円
 ④敷地造成費 21,488,544円
 ⑤備品費 50,000,000円

合 計 455,428,544円

◎財源内訳

- ①白川町地域密着型特別養護老人ホーム
 建設費補助金 281,880,000円
 ●平成26年度地域介護・福祉空間整備等
 施設整備交付金 119,480,000円
 ●平成26年度地域介護・福祉空間整備
 推進交付金 17,400,000円
 ●白川町補助金 125,000,000円
 ●東白川村補助金 20,000,000円
 ②平成26年度清流の国ぎふ森林環境基金事業補助金
 23,453,000円
 ③白川町合併処理浄化槽設置整備事業補助金
 2,037,000円
 ④福祉医療機構借入金 (自主財源)
 100,000,000円
 ⑤自主財源 48,058,544円

合 計 455,428,544円



東アジアのモデルに

理事長 大友信勝

あいランド美濃白川は、白川町、東白川村、及び両町村議会の皆様から、用地と建設費について格別なご配慮を賜り完成しました。

白川町や東白川村は高齢化率が40%と高く、サンシャイン美濃白川の入所待機者も多くあるため、4・5年前から建設を検討してきました。

今日の竣工式は私たち白泉会にとって新たな出発であり、通過点であります。

介護サービスは、介護報酬の引き下げや介護保険料の引き上げなど、極めて厳しい状況にあります。しかし、困難な中であっても、私たちは職員の間・待遇を守り、入所者一人ひとりのその人らしさを引き出す個別ケアを進めていきます。

そして、役職員が力を合わせて、岐阜県や日本はもとより、広く東アジアのモデルとなるようなサービスを築いていく決意です。心のこもったケアワークを展開し、白川町や東白川村の町づくり、村づくりに貢献したいと考えています。(竣工式でのあいさつを要約)



▲テラス

昼食の選択と

映画上映をはじめました



▲写真をみて昼食を選びます

「今日のお昼は、ハンバーグと鮭のムニエルのどちらにしますか」。サンシャイン美濃白川の選択メニューの日は、デイサービスセンターに到着すると、職員が昼食の希望を伺います。春から始まった新しい食事の試みに少し驚きながらも、メニューの写真をみて選ぶ様子は嬉しそうです。

食事の選択は、周りの人との会話のきっかけにもなり、昼食がより楽しみになると好評です。サンシャインでは、選択メニューを毎日提供できるように準備を進めています。

午後には、映画上映を月に数回行っています。「七人の侍」や「青い山脈」、「男はつらいよ」シリーズなど、名作を中心に、別室で映画館の雰囲気を作っています。

「懐かしい。次回は何を観させてくれるの」と職員に尋ねる方もあります。



▲寅さんが帰ってきました

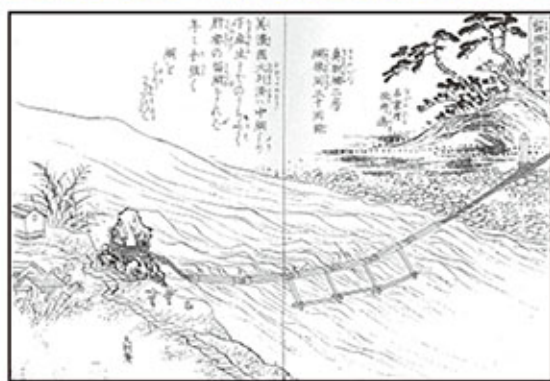
今後は、利用者の皆さんの希望も取り入れて上映する計画です。

また、クラブ活動で人気があるのは書道です。自分の道具を持参され、般若心経の写経にじっくりと時間をかけて取り組まれています。半紙1枚に書く文字は4文字。最後まで描くと67枚になります。「書き上げるまで元気でいらなアカン」と張り切って取り組まれる方が多くあります。

サンシャイン美濃白川デイサービスセンターでは、5月から9月まで、時間を延長し、夏時間で営業を行っています。

多くの皆さんのご利用をお待ちしています。

サンシャイン 周辺探訪 太利湊



▲官材図會「留網張渡之図」右側が島、左側が大利

江戸時代、飛騨の幕府直轄領の南方山から伐り出された御用木が、飛騨川（木曾川）の流れを利用して、尾張の国へと運ばれていきました。

サンシャイン美濃白川がある大利益集落と、新しくあいらんど美濃白川を建設した島集落の間の飛騨川に留網を張り、上流から流されてきた材木を、一旦ここで受け留め、整えてからさらに下流へと流しました。留網には不時の出水によって材木が流散しないようにする目的もありました。

嘉永七（1854）年に描かれた「官材図會」には、大利益（おおいり



▲このあたりに留網が張られていた（島大橋付近）

みなと」と名倉村枝郷嶋（なぐらむらしごうしま）を三十間余り（約55m）の真物網二房で結んだと記されています。大利益は飛騨川の三大網場の一つでした。

大利益で整えられた材木は、川幅が最も狭い勝村（かちむら）の難所（飛水峽）を経て下麻生まで流され、そこで桴（いかだ）に組まれて尾張の白鳥湊へと向かったのです。

私たち美濃白川の飛騨川流域に古くから伝わる風習の中には、「がんどううち」や「山の講」など、上流の飛騨と同じものが多くあると言われています。材木の川下（かわさげ）に従事した人々によって伝えられた文化かもしれませんね。

社会福祉 社会保障 は、いま ④

中長期の視点に欠ける介護保険

介護報酬が本年4月から、全体で2・27%減額されています。今回のマイナズ改定は財務省の主導によって行われました。どうしてなのでしょう。

政府は2020（平成32）年までに財政を黒字化すると断言しています。歳出に占める最大の費用は社会保障費であり、「2025年問題」（団塊の世代がすべて後期高齢者になる）によって介護費が増加することを予測し、国民に負担増、事業者には引き締めを意図して、その布石を打ったと言えるでしょう。

国民にはどのような負担増があったのでしょうか。たとえば、一定以上の所得がある場合（単身は月額約23万円、夫婦のみ世帯で約29万円以上）、利用料が2割負担となりました。

これは、お金持ちへの対応

で自分たちは関係がないと考えていませんか。少し思い出してみてください。少い思い出しているだけでいいでしょうか。老人医療費は1973（昭和48）年に無料化されましたが、1983（昭和58）年に有料化され、その後徐々に自己負担額が増えてきました。

財務省は医療保険制度の状況を踏まえた負担割合をすでに検討しており、今後の負担増への道筋がつけられたとみるべきでしょう。

社会福祉法人には「もうけずぎ」のキャンペーンをはって、介護報酬引き下げの理由にしました。社会福祉法人は利益を上げることを目的にしておらず、利益があつたとしても社会福祉事業以外に使えないことになっています。株式や出資金という概念はなく、オーナーも存在しないため、利益は個人のものにはなりません。

私たち白泉会は、理事長を含

めて、役員報酬を受け取っていません。それでも職員の人件費比率は70%に達します。職員は、利用者やその家族を支える専門集団であり、その職種に見合った賃金が保障されなければなりません。介護報酬の引き下げは、職員確保に大きな影を落としています。

さらにキャンペーンでは、社会福祉法人に多額の「内部留保」があることがとりあげられました。しかし、「内部留保」の実態は今後における施設の改築や修繕に備えての積立金であり、もうけをため込んでいる訳ではないのです。

社会福祉法人は多くの利用者とその家族、そして職員に対して、事業を安定的・継続的に進めていく重い責任があります。そのため、当然ある程度の蓄えは必要だと考えています。

2025年までの時間は限られています。優秀な職員を育て、安定した施設経営を確立することが一層必要なこの時期に、国は当面の財政対策を優先するあまり、中長期の視点を介護保険から欠落させているように思います。

（大友信勝）

車椅子・シャワーチェア ありがとう

白川北小学校・白川町収集ボランティアから寄付

3月に白川北小学校3,4年生（現在4,5年生）のみなさんが中心になって、アルミ缶を収集した浄財で車椅子を購入し、寄贈していただきました。

そして、白川町収集ボランティアからは、車椅子とシャワーチェアの寄贈がいりらんと美濃白川にありました。大切に使用させていただきます。



▲白川北小学校



▲白川町収集ボランティア

文芸コーナー

お花見になみだがいでとまらない
デイの友一緒に納まる写真立て
生き過ぎと云いつつまだまだ夢を追う
ラッキョにつけ飯の上に三つぼのせ
面影を浮かべつ綴る落文
郵便屋のつばい窓から入る鳥の声
短歌
ハンドルを切るほうに来る蛙かな

雪枝 宮豆 秀子 軍司 熊ん峰 義隆 登世

